

都市再生整備計画 フォローアップ報告書  
厚木駅周辺地区

令和8年3月

神奈川県海老名市

1. 数値目標の達成状況の確認(確定値)

様式4-① 都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の確定

指標	単位	従前値	目標値	事後評価				フォローアップによる確定値	計測時期	フォローアップ時点での達成度	確定値が評価値と比較して大きな差異がある場合や改善が見られない場合等		総合所見	
				評価値	見込み・確定の別	目標達成度	1年以内の達成見込み				理由	改善策の方向性		
指標1	アクセス性の向上	%	74.4	76.0	76.3	確定	○	あり	○	70.5	R7年5月	△	<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	平成29年に指標を設定して以降、コロナ禍に伴う生活様式の変化等の影響により、市政アンケートの結果は設定した指標より下降傾向であったが、当該事業の実施により上昇傾向に転じていることから、駅前広場等が整備された効果は十分に発揮されているものと考ええる。
指標2	賑わいのある空間の創出	人/日	35,562	38,000	29,357	確定	○	あり	○		R 年 月		<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	コロナ禍におけるテレワークの導入などによる働き方の変動といった予測できない要因により、従前より市内全駅の利用者が減少しているが、市内他駅の状況の変化を勘案すると、当該事業による効果は十分発揮されたと考える。
指標3	駅周辺の混雑緩和	台/時間	30	0	3	確定	○	あり	○		R 年 月		<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	同日時において新設された駅前広場での乗降客数を計測したところ、17台/時間であった。また、県道にて一時停車する車両の多くは降車であり、乗車する車両は駅前広場を利用していたことから、県道における長時間の停車の抑制、また渋滞緩和に寄与することができたと解する。

様式4-② その他の数値指標の確定

指標	単位	従前値	目標値	事後評価				フォローアップによる確定値	計測時期	フォローアップ時点での達成度	確定値が評価値と比較して大きな差異がある場合や改善が見られない場合等		総合所見
				評価値	見込み・確定の別	達成度	1年以内の達成見込み				理由	改善策の方向性	
その他の数値指標1					確定				R 年 月			<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	
その他の数値指標2					確定				R 年 月			<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	
その他の数値指標3					確定				R 年 月			<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	

## 2. 今後のまちづくり方策の検証

### 様式4-③ 「今後のまちづくり方策」の進捗状況

事後評価シート 添付様式5-③に記載した 今後のまちづくり方策(事項)		実施した具体的な内容	実施した結果	今後の課題 その他特記事項
<ul style="list-style-type: none"> <li>・成果を持続させるために 行う方策</li> </ul>	公共施設の維持管理	日常的な点検及び清掃を実施した。	大きな劣化等なく、適正に維持管理が出来ている。	
	広場等の利用方法の検討・周知	再開発建物や公共施設の完成に伴い、市広報誌において広場等の利用方法について、大々的に周知を行った。以降、時間経過に伴い、一定程度、駅前広場等の利用が浸透した。 また、駅前広場のキッチンカー等における道路占用の取扱いについて整理を行い、運用を図っている。	駅周辺における路上駐車は、指標3の結果からも確認できるとおり減少傾向であり、駅前広場の利用方法が一定程度周知されたものと判断できる。	
改善策 <ul style="list-style-type: none"> <li>・まちづくりの目標を達成するための改善策</li> <li>・残された課題・新たな課題への対応策</li> <li>・その他 必要な改善策</li> </ul>	駅利用者の低下	立地適正化計画の見直し年度が令和10年度のため、当該計画の見直しに伴い、まちづくりの方針等を検討していく。	—	

### 様式4-④ フォローアップにより新たに追加が考えられる今後のまちづくりの方策

追加が考えられる今後のまちづくり方策	具体的内容	実施時期	実施にあたっての課題 その他特記事項